

清退共（特別給付経理）に関するコメント状況

○適切に行われていると評価できる趣旨のコメント
 △事前回答により了解が得られたコメント
 ▲今後の具体的な検討が求められているコメント及び事前回答に了解を得られていないもの

資料 1 - 5

[] 内は、対応する基本方針の項目を示す。

番号	評価項目	各委員のコメント状況					検討課題
		村山	吉國	米澤	小粥	奥村	
1	〔I-1~3〕【資料6 P20.~】 ○ 運用の目標 ・ 基本原則、運用の目的に基づき、運用の目標の達成に向けた運用の遂行が市場の状況を踏まえてなされているか	△	○	△	○	○	<p><村山委員> ●「表2 運用資産の状況」において、短期運用の預金が残高、構成比、決算利回りとも「-」になっているが、これは残高が100万円未満を四捨五入した結果ゼロなのか、それとも完璧にゼロ円なのか。期中に残高があれば、決算利回りにいくらかの数字が算出されると思うが。 それとも、短期運用の行を削除する。 (回答) 期中に残高がないため、短期運用の行を削除します。</p> <p><米澤委員> ●自家運用の決算運用利回りが低い理由は。 (回答) 支出超過傾向の中で、退職金支払資金を確保するため、償還期間（残存期間半年~6年）が短く利回りの低い国債の既発債により運用を行っているため、決算運用利回りが低くなっています。</p>
2	〔I-4〕【資料6 P23.~】 ○ 基本ポートフォリオ ・ 基本ポートフォリオに基づく資産配分がなされているか ・ 基本ポートフォリオの検証が適切になされているか	○	○	○	○	○	
3	〔I-6〕【資料6 P25.】 ○ 情報公開 ・ 資産運用に関する情報公開が十分に行われているか	△	○	○	○	○	<p><村山委員> ●③について、「清退共事業等勘定特別給付経理の平成24年度の貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等を公開している」としてはどうか。 (回答) 「清退共事業等勘定の平成24年度の貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書等を公開している。」に修正します。</p>

4	〔Ⅱ〕【資料6 P26.~】 ○ 自家運用の遂行 ・基本方針に定める基本的投資スタンスが遵守されているか ・リスク管理が適正になされているか	○	○	△	○	○	<p><米澤委員> ●自家運用の決算運用利回りが低い理由は。 (回答) 支出超過傾向の中で、退職金支払資金を確保するため、償還期間（残存期間半年～6年）が短く利回りの低い国債の既発債により運用を行っているため、決算運用利回りが低くなっています。</p>
5	〔Ⅲ-1〕【資料6 P28.】 ○ 委託運用（金銭信託） ・受託機関の選定・評価が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか ・受託機関のシェア変更が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか ・受託機関の資産管理・運用状況の把握が適切になされているか	-	-	-	-	-	
6	〔Ⅲ-2〕【資料6 P28.】 ○ 金銭信託以外の委託運用（生命保険資産） ・受託機関の選定・評価が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか ・受託機関のシェア変更が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか ・受託機関の資産管理・運用状況の把握が適切になされているか	-	-	-	-	-	
7	〔Ⅲ-3〕【資料6 P28.】 ○ 有価証券信託による委託運用 ・受託機関の選定・評価が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか ・評価に基づき適切に払戻が行われているか ・受託機関の資産管理・運用状況の把握が適切になされているか	-	-	-	-	-	
8	〔Ⅳ〕【資料6 P29.~】 ○ 運用管理体制 ・運用体制の整備・充実がなされているか ・資産運用委員会等の運営が適切になされているか	○	△	○	○	○	<p><吉國委員> ●運用体制の整備・充実については、適切になされていると判断される。今後については、「公的・準公的資金の運用・リスク管理等の高度化等に関する有識者会議」の提言に対する機構としての対応方針を確定し、それを踏まえた説明が求められよう。 (回答) 市場の環境変化があるなかで、清退共制度に適した運用が行えるよう、検討していきます。</p>